

## 地域再生法に基づく地域再生計画の事後評価

平成23年11月

地域再生計画の名称	地域再生計画の区域	計画期間	地域再生計画の作成主体	評価主体
自然と親しむまちづくり計画	大田原市	平成17年度～平成21年度	栃木県、大田原市	大田原市
<p>地域再生計画の目標(概要)</p> <p>平成17年10月1日に大田原市は合併し、新市の将来像、地域の目標像を実現するため、8つの基本政策を掲げている。その中で、「自然と共生していくまちへ」を目標に、自然と暮らしが調和した田園風景や憩いの空間づくりを進める計画です。本計画エリア内には、八溝県立自然公園(旧黒羽)をはじめ、ふれあいの丘(大田原)、雲巖寺(旧黒羽)、なかがわ水遊園(旧湯津上)など、自然とふれあい、また、満喫できる施設を有しており、これらを結ぶ観光ネットワーク道路として整備し、各地域、各施設への集客増を図るとともに、林道整備により地元に健全な森林の提供をすることにより、地域の活性化を目指す。</p>				
支援措置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)		事業完了年月日	平成23年5月31日
計画認定(当初)	平成17年6月17日			
第1回 変更認定	平成18年3月31日 施設整備の拡充(市道6路線を追加)			
第2回 変更認定	平成20年3月31日 施設整備の拡充(林道1路線を追加)			
<p>検証する項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(目標1)指定した施設(3箇所)の集客率向上:5%増(平成16年度実績から平成22年度実績)</li> <li>(目標2)拠点施設へのアクセス改善:所要時間の短縮(対象区間:10区間)</li> <li>(目標3)平成17年度以降開設した林道の利用区域面積の10%以上の森林整備(平成21年度までの5年間)</li> <li>(その他)路線別の事業効果</li> <li>(その他)アンケート調査の結果:道路利用者の意見等</li> </ol>				

## 総合評価及び今後の方向性

### 《目標の結果》

(1)施設入場者数は達成、(2)所要時間の短縮は10区間中2区間で達成であった(個別の検証を参照)。

### 《総合評価》

本計画は、観光拠点施設(ふれあいの丘、なかがわ水遊園、道の駅「那須与一の郷」)への集客増を図ることで地域の活性化を目指した。集客率については目標を達成したが、アクセス改善(時間短縮)については、達成率が20%であった。しかしながら、アンケート結果では、幹線道路及び今回整備した路線について、走行性が向上したことを裏付ける結果が出ており、僅かな時間短縮より移動時の快適性(スムーズな走行や道が広く走り易いなど)が望まれているように思われる。また、各施設へのアクセスは、来客者のほとんどが国道を利用しており、幹線道路(国道等)へのアクセス道路整備と施設及び幹線道路への案内表示を併せて行う必要がある。また、開設した林道の利用区域面積が目標を上回る36%の森林整備を達成した。しかしながら、現在も整備が遅れている林道があり、地元で健全な森林を提供するとともに、災害発生時等に速やかに対応できるよう森林整備を推進していく必要がある。

### 《今後の方向性》

拠点施設での集客率の向上は、経済状況や原油価格の変動など社会情勢の変化によって、大きな影響を受ける。しかしながら、PR活動やイベント開催など施設の付加価値を上げることに加え、道路情報、施設情報や主要施設へのアクセス方法などを地図検索サイトなどへ情報提供することより、ユーザー自身で多様なルート選定ができるような環境整備をすることで、更なる拠点施設の集客率向上と大田原市への観光客誘致を目指していく。また、八溝地区の林業の振興を図るため、林道を整備し、間伐面積を拡大することにより、健全な森林を提供を目指すとともに、間伐材の利用促進も図っていく。

### 《具体的施策》

- 走行性重視の道路整備(舗装修繕・交差点改良)
- 幹線道路(国道等)へのアクセス道路整備(バイパス整備・拡幅改良)
- 案内板設置
- 地図検索サイトへの情報提供(観光ルートマップの作成等)
- 開設済の林道の整備(林道の拡幅改良)

## 【検証1】施設入場者数一覧表(7月～9月)

単位:人

施設名 \ 年度	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	H16→H22 伸び率(%)	目標値(H22) (H16の5%増)	摘 要
ふれあいの丘	14,926	18,065	13,280	13,065	13,594	15,388	16,049	7.5	15,700	宿泊者・観察館・天文館・体育館 の利用者合計数
なかがわ水遊園	83,867	91,853	93,711	84,511	79,157	90,765	91,551	9.2	88,100	なかがわ水遊園 おもしろ魚展示ゾーン利用者数
道の駅	175,560	196,888	230,770	233,172	242,950	277,038	267,396	52.3	185,000	道の駅「那須与一の郷」 の利用者数

### 検証結果

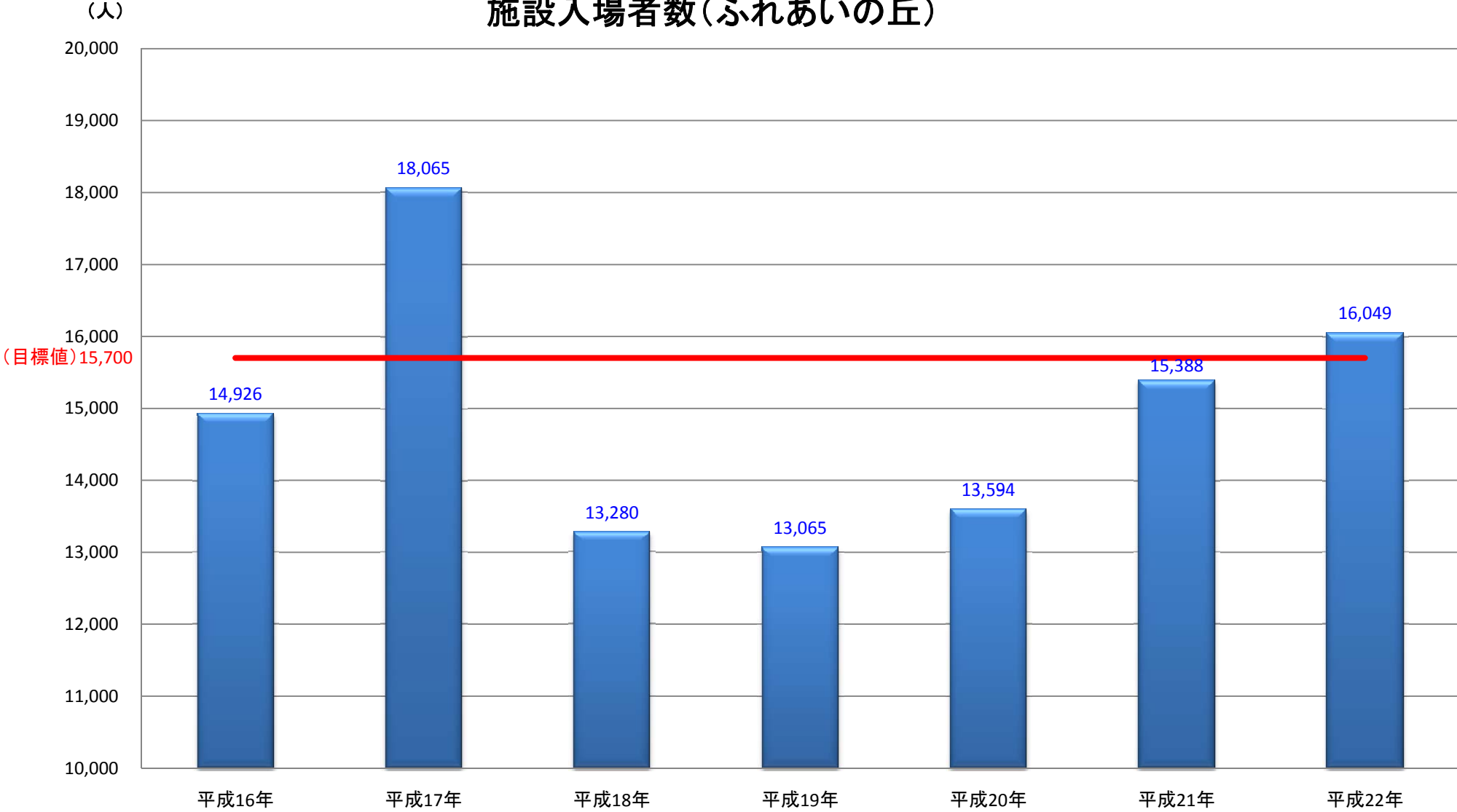
・各施設共に、目標数値は達成した。

これは、各施設のPR活動やイベント開催など、施設を運営する方々の努力と各路線の整備により各施設を起点とした観光ネットワーク路線としての効果が表れたことが目標達成の要因であると思われる。しかしながら、近年の経済情勢、特に計画期間において、ガソリン等燃料費の大きな変動の影響により、入場者数の増減が顕著に表れた。これは、今回の調査期間を夏季(7月～9月)に限定し、行楽客の誘致を想定していたため、燃料費の変動により車での外出が左右されていると推定される。

### 課題

- ・施設入場者数の増加は、PR活動やイベント開催など施設の付加価値を上げることが重要である。
- ・国・県道など幹線道路へのアクセス道路のさらなる整備と施設への案内が必要である。
- ・リアルタイムの情報発信(施設の情報や道路状況など)が必要である。(インターネット等の活用)

# 施設入場者数(ふれあいの丘)



# 施設入場者数(なかがわ水遊園)

(人)

100,000

95,000

90,000

(目標値) 88,100

85,000

80,000

75,000

70,000

平成16年

平成17年

平成18年

平成19年

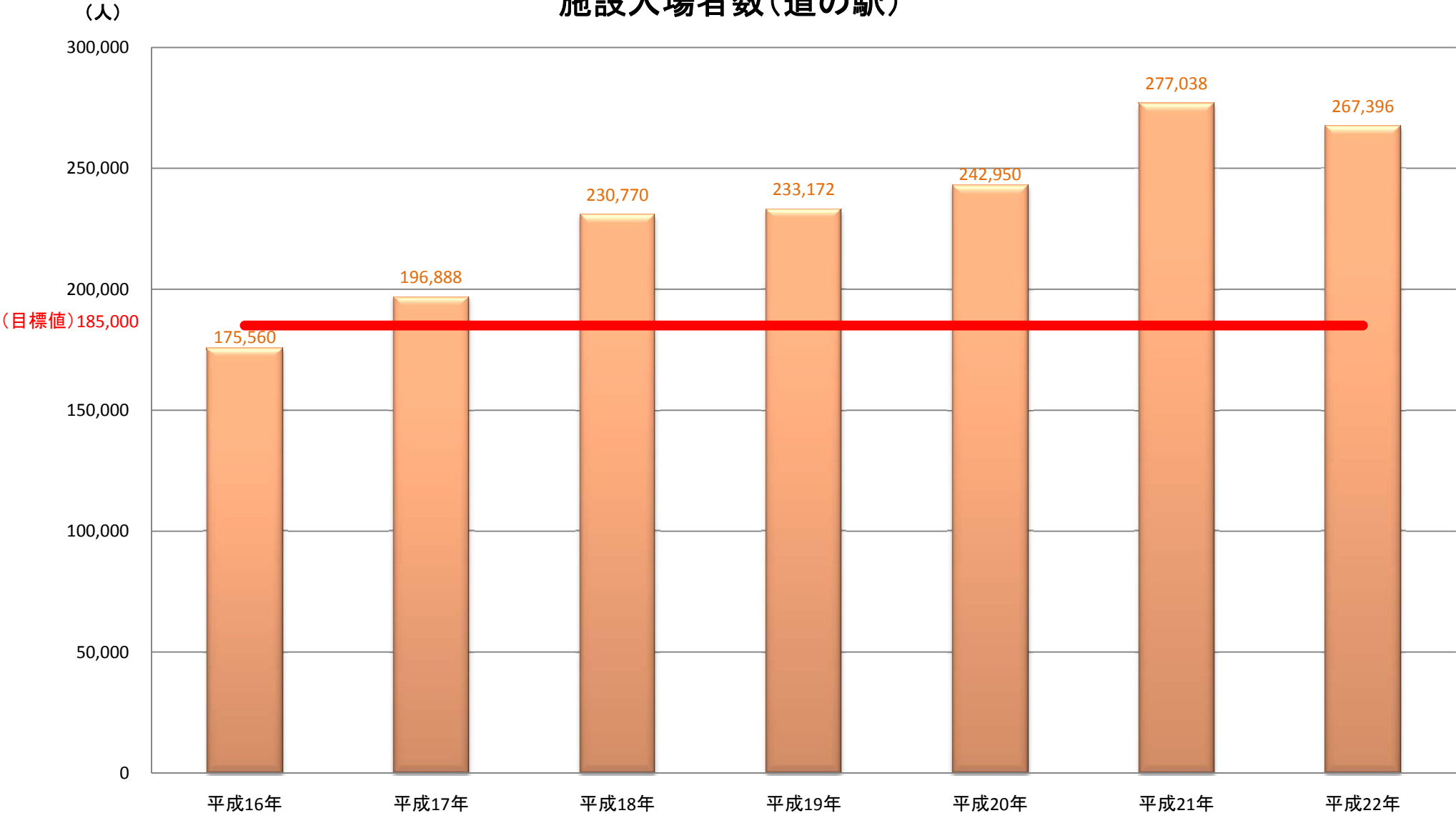
平成20年

平成21年

平成22年



# 施設入場者数(道の駅)



## 【検証2】 拠点施設へのアクセス改善

対象区間及び目標設定	当初	結果	達成状況
那須塩原駅～ふれあいの丘(市街地通過5分短縮)	13分	9分	△
西那須野塩原IC～なかがわ水遊園(親園地区通過5分短縮)	13分	14分	×
(主)大田原氏家線～ふれあいの丘(佐久山地区通過3分短縮)	7分	5分	△
ふれあいの丘～なかがわ水遊園(福原地区通過5分短縮)	17分	11分	○
黒羽城址公園～八溝県立自然公園～雲巖寺～黒羽城址公園(木佐美・南方地区通過15分短縮)	23分	7分	○
那須塩原駅～黒羽城址公園(羽田地区通過3分短縮)	7分	5分	△
西那須野塩原IC～道の駅～黒羽城址公園(南金丸地区通過5分短縮)	9分	9分	×
那須塩原駅～なかがわ水遊園(奥沢地区通過3分短縮)	6分	6分	×
国道4号～ふれあいの丘(実取地区通過3分短縮)	11分	9分	△
ふれあいの丘～黒羽城址公園(蛭田地区通過2分短縮)	22分	21分	△

### 検証結果

○:目標達成(2区間) △:時間短縮したが目標に届かず(5区間) ×未達成(3区間)

- ・7路線については、時間短縮が達成された。これらの路線は現道を拡幅した整備のため、旅行速度が上がったことが要因と思われる。
- ・3路線で時間短縮には至らなかった。これらの路線は車道幅は変わらず、舗装修繕及び路肩を拡幅した路線のため旅行速度に変化がなかったこと、区間中に新たに信号機が設置されたことにより、逆に時間を要してしまった路線もあった。

### 課題

・概ね事業効果は表れていると考えられる。アンケート結果でも、道路ユーザーの視点は利便性(アクセス改善等)より走行性(スムーズな移動等)を重視した意見が多く、移動時の快適な走行がユーザーに求められている。したがって、今後の課題として、現道拡幅や舗装修繕などにより旅行速度向上を目指すことが重要である。また、各施設を結ぶ観光ネットワーク道路としての利用形態を検証し、国道・県道を含めたルートづくりを策定する必要がある。

### 【検証3】 森林整備率(目標値:10%以上)

路線名	利用区域面積(ha)	整備面積(ha)	整備率	達成状況
林道稗畑入小滝線	43	21.32	49.5%	○
林道入小滝鍛冶内線	39	8.20	21.0%	○
計	82	29.52	36.0%	○

#### 《検証結果》

- ・開設した林道の利用区域面積が目標を上回る36%の森林整備を達成した。
- ・路線別で検証しても、各路線で整備面積が増え、目標値を大きく上回った。

#### 《課題》

・現在も整備が遅れている林道があり、地元へ健全な森林を提供するとともに、災害発生時等に速やかに対応できるよう森林整備を推進していく必要がある。また、八溝地区の林業の振興を図るため、林道を整備し、間伐面積を拡大することにより、健全な森林の提供を目指すとともに、間伐材の利用促進も図っていく。



【検証4】目標を達成するために行う事業(地域再生法第四章の特別の措置を適用して行う事業)の実施結果

路線名	計画期間		施工延長(m)		事業費(千円)		交付金(千円)		検証(個別の整備効果等)
	当初	実績	当初	実績	当初	実績	当初	実績	
市道ライオン親園線	H17~H21	H17~H21	5,900	5,900	657,000	990,000	328,500	495,000	路肩を広く確保したため、走行性及び安全性が向上した。
市道琵琶池線	H17~H21	H17~H19	1,600	1,670	243,000	189,000	121,500	94,500	当地区の利便性向上と市街地へのアクセス時間短縮が図れた。
市道宇田川花園線	H17	H17	800	740	110,000	110,000	55,000	55,000	当地区の利便性向上と幹線道路へのアクセス時間短縮が図れた。
市道ふれあいの丘福原南部線	H17~H21	H17~H21	1,500	1,730	200,000	374,000	100,000	187,000	市バス路線であり、当地区の利便性及び安全性が向上した。
市道佐久山平山線	H17~H21	H17~H19	1,500	1,470	259,000	261,000	129,500	130,500	当地区の利便性向上と幹線道路間のアクセス時間短縮が図れた。
市道中田原那須塩原駅線	H18~H21	H18~H21	740	740	380,000	264,000	190,000	132,000	幹線道路の渋滞緩和と市街地へのアクセス時間短縮が図れた。
市道片府田蛭田線	H17~H20	H17~H20	1,000	1,020	170,000	175,000	85,000	87,500	当地区の利便性向上と市街地へのアクセス時間短縮が図れた。
市道岩舟台新宿線	H18~H21	H18~H20	550	540	170,000	198,000	85,000	99,000	当地区の利便性向上と幹線道路間のアクセス時間短縮が図れた。
市道中野内南方線	H17~H21	H17~H20	2,000	2,100	600,000	382,000	300,000	191,000	地区間の利便性向上と観光周遊道路として時間短縮が図れた。
市道加治屋矢板線	H18	H18	1,200	1,210	68,000	68,000	34,000	34,000	舗装修繕により、走行性及び安全性が向上した。
市道旧東野鉄道線	H18~H21	H18~H21	1,300	1,190	665,000	470,000	332,500	235,000	地区間の利便性向上と市街地へのアクセス時間短縮が図れた。
市道羽田佐野線	H18~H19	H18	350	290	28,000	28,000	14,000	14,000	当地区の利便性向上と幹線道路間のアクセス時間短縮が図れた。
市道奥沢西鹿畑線	H18~H21	H18~H21	1,150	1,210	210,000	216,000	105,000	108,000	当地区の利便性及び安全性が向上し、通学路の確保が出来た。
市道実取薄葉線	H18~H21	H18~H21	1,000	1,080	250,000	295,000	125,000	147,500	当地区の利便性向上と幹線道路間のアクセス時間短縮が図れた。
市道若松町5号線	H18~H20	H18~H19	350	350	100,000	90,000	50,000	45,000	交通量の分散及び安全性の向上が図れた。
小計(市道)			20,940	21,240	4,110,000	4,110,000	2,055,000	2,055,000	
林道稗畑入小滝線	H17~H20	H17~H19	2,070	2,315	300,000	253,530	150,000	126,765	利用区域面積の49.5%の森林整備を達成した。
林道八溝縦貫線	H17~H19	H17~H18	300	512	30,000	21,270	15,000	10,635	地区間の利便性向上と観光周遊道路として時間短縮が図れた。
林道入小滝鍛冶内線	H20~H21	H20~H21	1,600	1,650	240,000	194,232	120,000	97,116	利用区域面積の21.0%の森林整備を達成した。
小計(林道)			3,970	4,477	570,000	469,032	285,000	234,516	
合計			24,910	25,717	4,680,000	4,579,032	2,340,000	2,289,516	

# 【検証5】 アンケート調査結果

道路の利用状況(目的と行動調査)と道路状況を把握するために実施した。

	実施箇所	実施日	アンケート(回答数)		来客者の出発点 (どこから来たか)		主な目的	利用した主な市道		利用した主な国道・県道		道路状況に対する主な意見
			基本項目	道路状況								
①	東武百貨店 大田原店	平成22年12月5日 (日) (年末お歳暮セール)	500 件	327 件	大田原市	183 件	買い物	内環状線北大通り線	98 件	国道400号	429 件	《評価された意見》 ○スムーズな走行ができた ○道が広くなり走り易い ○良好 ○国道461号奥沢BPが開通し早くなった
					那須塩原市	189 件		内環状線南大通り線	94 件	国道461号	138 件	
					矢板市	43 件		大田原野崎線	52 件	(主)大田原高林線	61 件	
					その他	85 件		末広一区町線	28 件	その他	103 件	
								その他	228 件			
②	道の駅 「那須与一の郷」	平成22年11月21日 (日) (新そば祭り開催)	350 件	171 件	大田原市	102 件	買い物	内環状線南大通り線	57 件	国道461号	337 件	《課題となる意見》 ●内環状線が混雑 ●わだちがあり走行しづらい ●大田原市役所付近が混雑
					那須塩原市	65 件	休憩	ライスライン金田線	44 件	国道294号	80 件	
					県内	95 件	食事	ライスライン宇田川線	34 件	国道400号	42 件	
					県外	88 件	イベント	ライスライン親園線	30 件	県道親園南金丸線	40 件	
								旧東野鉄道線	20 件	その他	99 件	
③	なかがわ水遊園	平成22年12月12日 (日) (クリスマスイベント期間)	182 件	55 件	大田原市	25 件	水族館	旧東野鉄道線	5 件	国道294号	173 件	●信号が多すぎる ●舗装状況が悪い ●道が狭い (大型車とのすれ違い時) ●走行しづらい (幅員の変化が頻繁)
					那須塩原市	23 件	買物	内環状線南大通り線	4 件	国道293号	69 件	
					県内	72 件	イベント			国道400号	40 件	
					県外	37 件				国道4号	28 件	
										その他	33 件	

## 【検証結果】

### 《市街地への来客者(東武百貨店)》

- ・目的は買物客が多く、利用者の74.4%が大田原市及び那須塩原市の住民であった。
- ・道路利用の状況について、市道は内環状線と大田原野崎線が48.8%を占め、国県道は国道400号が85.8%、国道461号が27.6%を占めた。
- ・市街地へのアクセスは、市中心部から放射線状に伸びる国県道と内環状線を利用する人が多い。

### 《拠点施設への来客者(道の駅)》

- ・目的は、農産物直売所があるため午前中は地元の買物客が多く、午後は県内外から食事・休憩などの客が多く見受けられた。
- ・利用者の47.7%が大田原市及び那須塩原市の住民で、県北地区以外の県内及び県外の利用者は39.7%であった。
- ・道路利用の状況について、市道は広域農道ライスラインが30.8%を占め、県道親園南金丸線と共に外環状線の役割を果たし、内環状線南大通り線が16.3%を占め、国道400号大西バイパス及び国道461号奥沢バイパスと一体的な路線として幹線道路の役割を果たしている。また、国県道は国道461号が道の駅に隣接していることから96.3%を占め、国道294号が22.8%、国道400号が12.0%、県道親園南金丸線が11.4%を占めた。
- ・道の駅へのアクセスは、国道294号～国道461号の利用が最も多く、次いで国道400号～市道内環状南大通り線～国道461号、次いで広域農道ライスライン～国道461号を利用する人が多い。

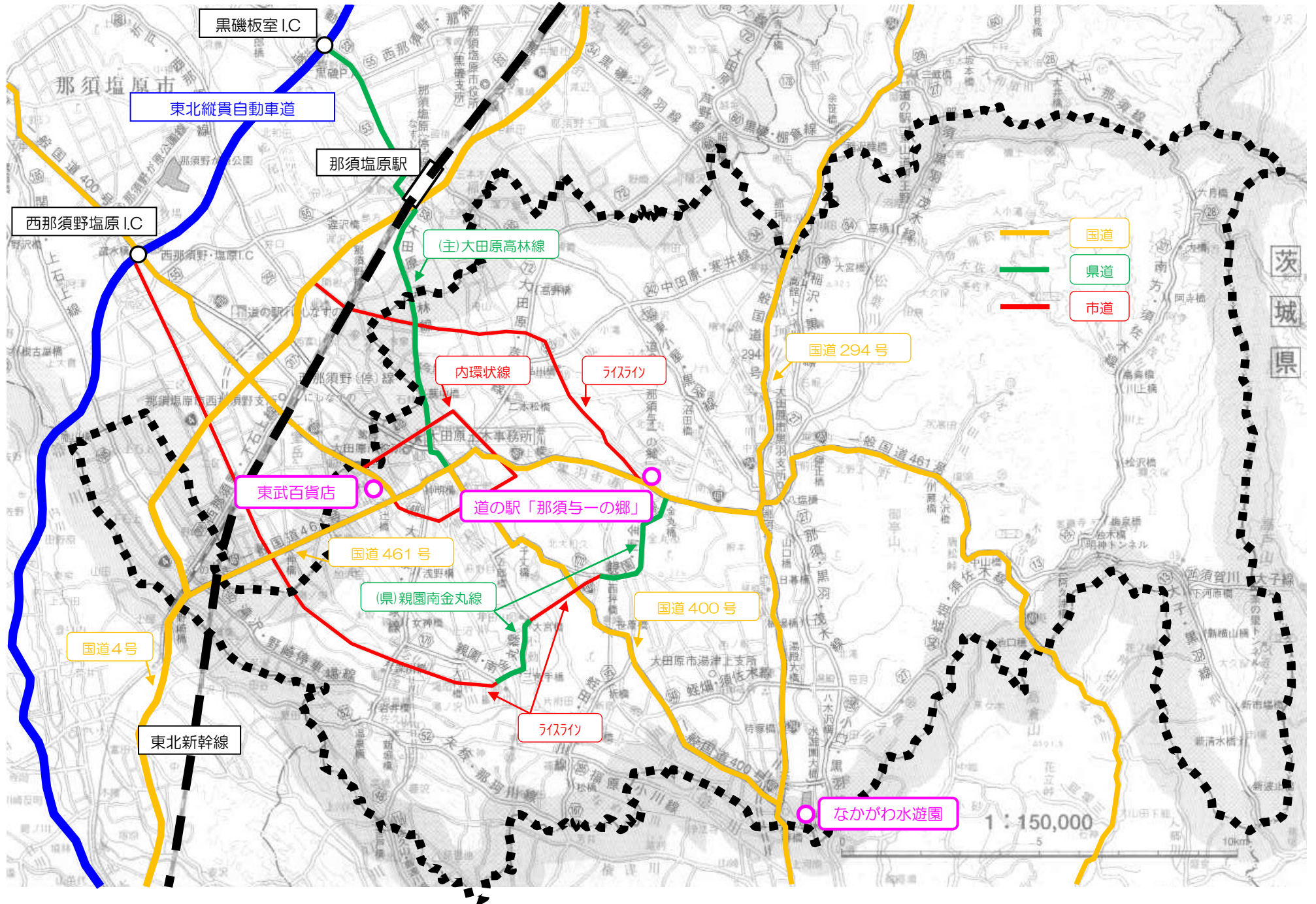
### 《観光施設への来客者(なかがわ水遊園)》

- ・目的は水族館利用者が殆どで、観光客が多く、市内・県北地区・県内・県外と来訪客は広域にわたっている。
- ・道路利用の状況について、国道294号の利用者が多く95.0%、次いで国道293号が37.9%、国道400号が22.0%を占めた。なお、市道利用者は極めて少ない。
- ・なかがわ水遊園へのアクセスは、国道294号の利用が最も多く、次いで国道293号～国道294号、次いで国道400号～国道294号を利用する人が多い。

### 《道路状況について》

- ・道路状況に関する参考意見として、走り易いや良好、また、舗装状況の悪化や道幅の狭さにより走りづらいなど、利便性より走行性を重視した意見が多く寄せられた。

# アンケート調査関係（位置図）



## 【 市道ライスライン親園線 】

### 【 整備前 】



### 【 整備後 】



【 市道琵琶池線 】

【 整備前 】



【 整備後 】



【 市道宇田川花園線 】

【 整 備 前 】



【 整 備 後 】



【 市道ふれあいの丘福原南部線 】

【 整備前 】



【 整備後 】





## 【 市道佐久山平山線 】

### 【 整備前 】



### 【 整備後 】



【 市道中田原那須塩原駅線 】

【 整 備 前 】



【 整 備 後 】



【 市道片府田蛭田線 】

【 整 備 前 】



【 整 備 後 】



## 【 市道岩舟台新宿線 】

### 【 整備前 】



### 【 整備後 】



【 市道中野内南方線 】

【 整備前 】



【 整備後 】



【 市道旧東野鉄道線 】

【 整備前 】



【 整備後 】



【 市道羽田佐野線 】

【 整備前 】



【 整備後 】



【 市道奥沢西鹿畑線 】

【 整備前 】



【 整備後 】





【 市道実取薄葉線 】

【 整備前 】



【 整備後 】



【 市道若松町5号線 】

【 整 備 前 】



【 整 備 後 】



【 林道稗畑入小滝線 】

【 整備前 】



【 整備後 】



【 林道入小滝鍛冶内線 】

【 整 備 前 】



【 整 備 後 】



# 地域再生計画のイメージ図

(大田原市)



西那須野塩原IC

東北自動車道

黒磯板室IC

那須塩原駅

東北縦貫自動車道

大田原市役所

市街地エリア

国道461号

道の駅「那須与一の郷」

黒羽エリア

林道の整備

市道の整備

道整備交付金の活用

国道4号

国道400号

国道294号

東北新幹線

ふれあいの丘

なかがわ水遊園

湯津上エリア

